

【様式1】

概要書

研究名	IoTによる水田水位検知システムの開発
民間機関等 (相手方)の名称	株式会社 Stay gold てらだファーム
研究の概要	<p>稲作においては、5月の田植えの時期から8月ごろまでの日中気温が上昇する季節に圃場に水をはり、その保温効果により作付け後の水稻の育成を促します。その為にも水の管理は欠かせません。稲作における圃場の水管理作業は、現状では手作業による水門の開け閉めにより行われています。しかし、圃場も広大になると一つ一つ状況を確認し開閉作業することは多くの時間と手間取られる作業となっています。また生産者側は高齢化も進み、農作業の効率化が急務となっていることから、少なくとも圃場の状態が把握できれば、そこに向かう作業は効率化できると考えます。昨今のIoT関連技術の進歩により、農業分野でのデータ収集とその活用から実用化されているシステムも多いことは存じています。しかし、稲作を中心とした農業経営では、気候変動により生産が左右されるため、新たな取り組みに興味はあっても農地の規模が大きければその導入費用もそれなりの負担となり、そこに大きな経費をかけることができない現状があります。以上のことから、IoTによる適用分野を絞り込むことにより、費用対効果の高いシステムとして「IoTによる水田水位検知システム」の開発に共同研究として支援していただくことを要請します。</p>